

## 海外進出ステップアッププログラム「セミナーA実施レポート」

10月6日に第1回目となるセミナーA「アニメーション映画祭・海外マーケットについて学ぶ」を開催いたしました。前半は数土氏よりコロナ禍以降の海外アニメーション映画祭・見本市および海外の市場動向についての解説があり、後半は過年度のMIFAへの参加事業者との対談セッションを行いました。4年ぶりの対面開催ということもあり、非常に多くの方が参加し、終了後には参加者同士の名刺交換やコミュニケーションもさかんに行われ、活気のあるスタートとなりました。

### セミナーA「アニメーション映画祭・海外マーケットについて学ぶ」 講演内容ご紹介

アニメーションジャーナリスト 数土 直志氏

#### 「海外アニメーション映画祭・見本市は今どうなっているのか」

- アニメーション映画祭や見本市の種別や役割について、ビジネスパートナーを見つけるために適した映画祭・見本市の中のプログラムの内容や、現場で実際にどのようなコミュニケーションが行われているのかを、実際の会場の雰囲気等も踏まえて解説いただきました。
- 特に、ブース出展で場所を確保しているからこそ訪れる飛び込み訪問による出会いや、ピッチセッションで多くのプロフェッショナルの前で企画の売り込みをする影響力の大きさ、パーティーでの立ち話から始まるビジネス等、様々な映画祭・見本市でのビジネスチャンスについてご紹介いただきました。
- 加えて、MIFAについても直近の規模や知名度・格式の高まりといったトレンドを中心に、Share with等の注目のイベントの紹介や現地での日本の存在感の大きさ等、MIFAの熱量についても解説いただきました。
- 質疑応答では、日本作品の海外での位置づけや、AI等を用いた新たなアニメーションビジネスの海外の動向等について質問があり、会場も海外でのビジネスに向けて高いモチベーションでセミナーを受講されていました。



数土氏によるセミナーの様子

#### 「東京都海外進出ステップアッププログラム～MIFA出展を経験して」

有限会社カナバンクグラフィックス 取締役 / ディレクター 富岡 聡氏

同 アートディレクター / ビジュアルデザイナー 関 厚人氏

モデレーター：数土 直志氏

- 対談セッションでは、数土氏をモデレーターに、過年度MIFA出展を経験した有限会社カナバンクグラフィックスの富岡氏、関氏を招き、MIFA出展の魅力や大変さ等について赤裸々に語っていただきました。
- 会社として継続して出展する戦略の意図やその中での成長や苦悩の実態、本事業で学んだことや、その後自分たち自身で取り組んでいること等を語っていただけため、受講者の方にもMIFA出展の前後の具体的なイメージが共有できました。特に、企画が実現するまで5年かかると言われる中で、3年が経過し、試行錯誤をしながら徐々に形が見えてきている様子に勇気づけられた参加者も多かったと思います。
- 質疑応答では、同じように海外ビジネスで悩みを持つ方からの質問や、具体的な海外ビジネスの成功時の利益確保の考え方等の質問があり、時間いっぱい多くの質問で盛り上がりました。



対談セッションの様子